

テーマ「自分を生きる」

タイトル「僕のもやもや」

【学習資料】

教室では、テレビに出てくるおネエキャラのタレントを話題にして、楽しそうに笑っている友達がいる。

「だろう、ヒロシもそう思うだろう」とふられて、いつも困惑する。

「言えないよなあ」と思う。

僕のもやもやだ。

アロマを焚いてその香りに包まれるときに幸せ—

これが僕の秘密。

ばれると面倒くさいから人には話していない。この教室で話せば「女子力、高一っ。」と言われるに決まっているからだ。ついこの前も、けがをした友達に、ポケットの手帳から絆創膏を取り出して渡しただけで、「いつも持ってるの？なんか女子みたい」と言われたばかりだ。

どうやら僕は、女子っぽい男子だと見られているようだ。「女子っぽい男子って、何だ？」と思うのだが、そうすると友達の日常や世間は落ち着くのだろう。だから、女子力が高い僕を、周りはそういう目で見て、自分たちとは違うんだとほっと安心している。

「言えば、テレビのタレントよろしくからかわれるのかなあ…。僕は何も変わらないのに。」彼らの日常に波風を立てるかのように僕が本当のことを言えば、からかわれないとしても、きっと気を遣われるだろう。

結局、秘密にしているのは、自分のためというよりは、周りの友達のためなのか…。なんだか気まずい。

小学校の時から気心の知れたダイスケだけは、僕の秘密を知っている。「男がアロマとか、香りとか変？」と聞くと、ダイスケは「何でそんなことで悩むわけ？」とつれない。が、そのつれなさも含めて僕はダイスケが好きだ。秘密を知ってるくせに、つれない態度。ほっとかされてるのか、心配されてるのか。僕にとってダイスケの存在は大きいけど、果たしてダイスケは、僕のことをどう思っているのだろう。

ふと、教室のクラスメートの顔を思い浮かべる。

毎日筋トレをして筋肉を自慢している野球部のカツヤ。物静かでいつも好きな文庫本を手放さないタツヤ。大声でしゃべってうるさがられているケイコ。きちんと連絡ノートを書いて提出物満点で先生に褒められるヨシコ。お気に入りのキャラクターのキーホルダーをペンケースにつけてうれしそうに気の合う女子と話しているケンジ。大人びてすらっと背の高いシンジは、いつも制服のしわやよごれを気にしている。この前手作りのプリンを食べさせてくれたハヤトもいる。ヒトミはいつも給食が大盛りのくせ、誰よりも早く食べ終わっている。いろんなヤツがいる。

つれないダイスケは、というと、最近はゲームに夢中だ。やれアイテムがどうだの、どこまでクリアしたかの熱く語っている。いたってふつうの中学生だ。

みんな違う。見た目も、性格も、考え方も、好きな食べ物も、寝る時間も、得意な勉強も、給食を食べるスピードも、お気に入りの服も、好きな人のタイプも、誰を好きになるかも。自分の好きなことや興味のあることがあり、何も気にせずそれぞれがそれぞれの日常を生きている。

それなのに、アロマを焚いてその香りに包まれて幸せを感じることは、秘密のままなのか。僕のまわりだけに、見えない壁があるようだ。見えない壁をつくらないと、困るのは僕なのか、みんななのか。

「壁をとっばらってもいい？」と、みんなにホントは聞いてみたいのだ。

【イラスト】



【学習のポイント】

- 性が多様であることについて知る。
- 性が多様であることについて考えることを通して、「自分らしさ」を大切にすることや自他の尊重が大切であることを理解する。
- 他者理解や他者との関わり方、人の生き方や在り方の問題としてとらえて子どもの「自分らしさ」を大切にしたり、「自分らしさ」ゆえに生きづらさがあるのであれば、そこに寄り添える大人でありたいということを共有したりする。

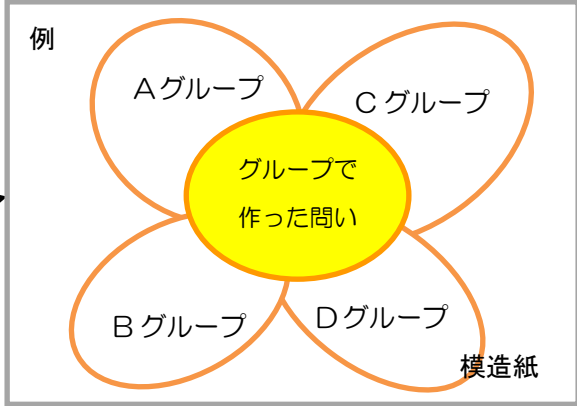
【キーワード】

- 自分らしさ
- 寄り添える大人

【すすめ方（80分）】

流れ	分	主な活動	主な発問	留意点
導入	5	1 本研修会のねらいや進め方の確認 ・話合いのルールについて確認する。	■本研修会のねらいや進め方について説明する。 ・真面目な雑談 ・「参加・尊重・守秘」を確認	◆事前にグループ編成を行っておくと良い。 ◆グループの人数は、1グループ4～5人程度。
	5	2 アイスブレイク		
展開Ⅰ	7 (2) (3) (2)	3 性の多様性について理解する。 ・身体の性、心の性、好きになる性、表現する性などがあり、性が多様であることを理解する。	■（イラストを見せて） 好きになる性は何でしょう？ ・個人で考えてみましょう。 ・隣同士で答えを確かめてみましょう。 ・解説2分	◆同性愛は病気ではないこと、中学生ごろから違和感を抱くこと、法律では同性婚は認められていないこともあわせて説明する。

展開2	20 (2) (3) (5)	4 学習の流れを確かめグループでの作業 ・学習資料について、気になることを洗い出す。	■学習資料の内容で気になったところはありますか。 ・学習資料を読む。 ・個人で考えて、気になった所に下線を引きましょう。(個人用の学習資料) ・グループになって順番に気になった部分に下線を引き、理由を説明しながら書きましょう。(A3版の学習資料)	◆ファシリテーターが読み聞かせるのもよい。 ◆個人用の「学習資料」を配布する。 ◆A3版「学習資料」を各グループに配布する。
	(8) (2)	・他のグループに意見を聞いてみたい「問い」を1つ立てる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">問いの例： 僕のもやもやを解消するにはどうしたらいいでしょう？</div> ・みつばちワクワクカフェの方法や役割を確認する。	■他のグループに聞いてみたいことを考えましょう。 ※合意形成を図り、問いを立てる ・グループで出された意見を踏まえて、他のグループに意見を聞いてみたいことを1つだけ模造紙に書きましょう。 ■(活動の流れを確認しながら)他のグループに出かけるみつばち役の順番を決めましょう。 ・みつばちは問いや話し合い内容を説明する役と書く役の2人となります。	◆模造紙を各グループに配布する。 ◆模造紙の中央にグループで考えた問いを書き、円形に囲む。 ◆問を立てる際に、グループの意見として採用されないものもあるが、すべて大切な意見であることを伝える。
展開2	7	5 みつばちワクワクカフェ 【活動の流れ】 ① みつばち役(2人ずつ)になる順番を決める ② みつばち役は模造紙を持って他のグループに移動し、1人が問いを説明し、もう1人が話し合いで出された意見を模造紙の余白に書く ③ みつばち役がグループに戻り、もらった意見を報告する ④ みつばち役を交代し②③を繰り返す (グループ数・進行具合に応じてセット数を決める) ⑤ 終了後、他のグループのワークシートを見てまわり、なるほどと思う意見に「いいねシール」を貼る		◆活動の流れと成果物の例を提示する。 ◆模造紙の花びらは、事前に書いておいてもよい。 ◆みつばちの負担にならないように、役の2人は、説明する役と書く役に仕事を分担して進める。 ◆みつばち役は短時間で情報共有ができる
	(6) (1)	第1セット ・みつばちとして飛んできた人の問いに対して、意見を出す。 ・みつばちは自グループに持ち帰り、意見を共有する。	■みつばちワクワクカフェ、第1セットをしましょう。 ・みつばち役は模造紙を持って他のグループに出かけましょう。模造紙の問いに対して意見をもらい、問いの周りが出てきた意見を書き込みましょう。時間になったら、書き込んだ意見を1枚の花びらになるように囲みましょう。 ・みつばちは自分のグループに戻って、もらった意見を共有しましょう。	

	7	6 みつばちワクワクカフェ 第2セット (6分+1分)	<ul style="list-style-type: none"> ・みつばち役を交代しながら繰り返す ・意見の出具合を見ながら、時間を調整する 	ように努める。
	7	7 みつばちワクワクカフェ 第3セット (6分+1分)		
	7	8 みつばちワクワクカフェ 第4セット (6分+1分) ※様子を見て、14分×2セットの場合あり。		
		<ul style="list-style-type: none"> ・話合いで出された意見を書き込んでいく。 ・話合いが終わったら、自グループの名を書き、花びら状に囲む。 ・最終セットが終わった時に、花が完成するようにする。 		
展開3	5	9 ギャラリーウォーク ・他のグループを見て回る。	<ul style="list-style-type: none"> ■ギャラリーウォークをしましょう。 ・他のグループの問いや問いに対する意見を見て回しましょう。 ・「なるほど」と思う意見には、「いいねシール」を貼りましょう。 	◆シールを配布する。 (1人3~5枚)
まとめ	10 (5)	10 今日の気づきや考えたことを共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ■今日の話合いやギャラリーウォークをもとに、気づいたことや考えたことを話し合しましょう。 	◆様子を見て、ファシリテーターが全体に紹介したり、発表してもらったりする。
	(3)	11 ファシリテーターのまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ■最後に今日の研修のまとめをします。 ・性は多様で、一人ひとり違います。それを尊重することが大切です。 ・それぞれの自分らしさのために生きづらさを感じる事があれば、そこに寄り添える大人でありたいものです。 ・性の多様性について考えることは特別なことではなく、私たち一人ひとりが他者とどう接するか、自分の生き方をどうしたいのかを考えることです。 ・自分も他者も大切にしたい生き方をしていきたいものですね。 	
	(2)	12 アンケートの記入をする。		

